

単元名：なかよしむしハウスをつくろう  
「いきものとなかよし」

男子17名 女子14名 計31名

指導者 田村 瞳

## 単元について

- 本単元は、小学校学習指導要領生活科の内容(7)「動物を飼ったり植物を育てたりして、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもち、また、それらは生命をもっていることや成長していることに気づき、生き物への親しみをもち、大切にすることができるようにする。」を受けて設定した単元である。本単元では、「なかよし虫ハウス作り」を目的とし、身の回りにいる虫を捕まえ飼育することで、虫によって育つ環境が違ふことや、自分が世話をしないと虫が死んでしまうことに気づき、生き物を飼うことの楽しさや、生命の大切さを感じることができることをねらいとする。テレビゲームやカードゲームなどの室内遊びが多くなり、日常生活の中で自然や生命と触れ合い、かかわり合う機会が減ってきた児童にとっても、虫は日常生活の中でよく目にする身近な生き物である。これまでに虫を捕まえたことがある児童もたくさんいると思うが、それを飼うためには、継続して世話をする必要があるのであるため、責任感や充実感、生命の尊さも味わわせることができる。バッタやコオロギ、カマキリやダンゴ虫など、よく知っている虫を飼育することで、親しみをもち関わられるようにしたい。特にバッタは、トノサマバッタやオンブバッタ、ショウリョウバッタ、ツチイナゴなどたくさんの種類があり、種類によって捕まえられる場所が少し違ふ。体の色と捕まえた場所の関係にも注目させ、虫ハウス作りに活かしていけるようにしたい。校庭や瀬野川河川敷、公園など校区内の身近な場所で見つけ捕まえた虫の虫ハウスを作ることで、捕まえた場所を見に行ったり、捕まえた場所と同じ木や草などの材料を集めたりしやすくする。生活の学習だけで終わらず、虫に親しみをもち、自分の力でもっと工夫して飼育してみようとする意欲をもたせることをねらいとした単元である。
- 本学級の児童は、5月にアサガオの種をまいて育て、芽が出たり、つるが伸びたり、花が咲いたり、アサガオが成長する喜びを味わう中で、生き物を育てる楽しさを経験している。しかし、水やりを忘れていても、天候のおかげでアサガオが育ち花を咲かせることができた児童もおり、全員が生き物を育てるという責任感をもって取り組めたとは言えない。虫とのかかわりについては、本学年の児童の中には、休み時間にバッタやカマキリの赤ちゃんなどの虫を捕まえ、卵パックやトマト容器など、身近な物を使って育てようとする児童の姿が見られた。それに対し、本学級の児童は、教室にセミの抜け殻を持って帰ってくる児童は何名かおり、虫に興味はあるものの、生きた虫を捕まえ育てようとする児童はおらず、生き物を育てることへの関心が低い。

## ○課題を発見・解決する力

身近な虫に関心をもち、虫の育つ場所や変化、成長の様子に気づき、生き物に親しみをもち大切に育てていきたいという意欲をもたせることで、課題を発見・解決する力を向上させたい。本単元前には、「むしをさがしてあそぼう」で瀬野川河川敷や公園に行き、いろいろな生き物がたくさんいることを体感させている。また、虫に親しみをもち、もっと長く一緒にいたいという気持ちももたせておく。本単元では、捕まえた虫を大切に飼うために、虫に合った環境を考え虫ハウスを作り、虫を育て

ていこうという願いをもたせることで単元のゴールを設定する。児童は日々虫とかかわり合いながら楽しさを感じる中で、愛着がわきもっとお世話をしたいと感じられるであろう。虫の世話をしながら、虫に合った環境を考え、主体的に虫ハウスをよりよくしていこうとすることができる環境を整えることに留意したい。

### ○**深く考える力**

本時では、虫ハウスに入れている材料とその理由を出し合い、材料と理由を関連付けて考える力を育成する。「食べる」「寝る」「遊ぶ」ための材料が必要なことに気付き、自分はどんなハウスにしたいのかを考えた上で、改善点が見つけられるようにする。同じ虫でも入れている材料が違ったり、同じ材料でも入れている理由が違ったりする。材料に草を入れている児童でも、ふかふかにして寝れるようにするために入れる児童と、はしごのようにして遊んでもらえるように入れる児童がいるはずである。材料と理由とを関連付けて考えさせることで、虫ハウスにはどういった材料が必要なのかを、3つの視点を基に気付きを深めさせたい。

### ○**自己を理解する力**

課題の設定において、身近な校庭や瀬野川や公園にはいろいろな虫がおり、実際に飼う様子を見て工夫すれば飼うことができることを知った上で、虫を飼育するにはどのような学習をしていけばよいかを話し合いながら、学習計画を児童と一緒に立て、単元のゴールの見通しをもたせる。ゴール時には、それぞれの虫ハウスを紹介し合い、工夫した材料や飼い方で気を付けたことなど、交流し伝え合うことで、工夫のよさに気付かせたい。また、捕まえ飼育していく中で、校庭や公園にいる虫とは違い、自分の友達として大切にしている自分の良さにも気付かせたい。

単元の振り返りでは、虫ハウスや虫ハウスシートをもとに、単元の最初に立てた「学びのモニタリング」の視点で、自らの学びや学び方を振り返る。その中で、生き物は生命をもっていることや、虫によって棲む環境が違うこと、育てるうちに自分の大切な友達になっていることなどに気付かせ、今後の学習意欲につなげていきたい。

## 単元の目標及び内容について

- 虫の育つ場所、変化や成長の様子に関心をもち、生き物に親しんだり、大切にしたりしようとする。 【関心・意欲・態度】
- 虫を飼ったり育てたりすることについて、自分なりに考えたり、工夫したり、振り返ったりして表現することができる。 【活動や体験についての思考・表現】
- 虫の特徴や虫に合った世話の仕方、育つ環境があることに気付くことができる。 【身近な環境や自分についての気付き】
- 生き物は生命をもっていることや、成長していることを知り、生き物と自分のかかわりに気付くことができる。 【身近な環境や自分についての気付き】

## 単元の評価規準

生活への関心・意欲・態度	活動や体験についての 思考・表現	身近な環境や自分についての 気付き
虫の育つ場所，変化や成長の様子に関心をもち，生き物に親しんだり，大切にしたりしようとしている。	虫を飼ったり育てたりすることについて，自分なりに考えたり，工夫したり，振り返ったりして表現している。	虫の特徴や虫に合った世話の仕方，育つ環境があることに気付いている。 生き物は生命をもっていることや，成長していることを知り，生き物と自分のかかわりに気付いている。

## 指導と評価の計画

全6時間

次	時	学習内容	評価				
			関	思	気	評価規準	評価方法
		<b>生活科 「むしをさがしてあそぼう」</b> 校庭や瀬野川河川敷や公園などに行き，身近にいろいろな虫がいることを知り，捕まえる。					
一	1	<b>課題の設定（1）</b> ○虫に興味をもち，学習の見通しを立てる。 ・身の回りにいる虫や，飼ったことのある虫を紹介し合い，虫に興味をもつ。 ・ゴールの見通しをもち，学習計画を立てる。	○			・身近な虫に関心をもち，虫を上手に飼いたいという意欲をもって学習計画を立てようとしている。	行動観察
	2	<b>情報の収集（2）</b> ○虫の育つ環境を考える。 ・瀬野川河川敷に行き，虫が育つにはどんな環境が必要かを考える。			○	・捕まえる場所によって虫が違うことに気付いている。	行動観察
	3	○虫ハウスを作る。 ・自分の虫の捕まえた場所の様子を見に行ったり，家の人に聞いたり，本で調べたりして餌や棲みかについての情報を集め，虫ハウスを作る。		○		・虫を捕まえた場所をもう一度見に行ったり，友だちや家の人に相談したりするなど，様々な方法で飼い方を調べ，虫ハウスを作っている。	行動観察 虫ハウス
	4	<b>整理・分析（1）</b> ○虫ハウスを改善する。 ・虫ハウスの材料とその入れた理由とを関連付け，「食べる」「寝る」「遊ぶ」の3つの視点から，虫ハウスに必要な材料を考える。		○		・材料を分類したことをもとに，虫ハウスの改善点や材料を考え，虫ハウスを工夫している。	行動観察 虫ハウス シート 虫ハウス
		【本時】					

次	時	学習内容	評 価					
			関	思	気	評価規準	評価方法	
		<b>常時活動</b> ○虫ハウスをより棲みやすいハウスへと改善していく。						
二	5	<b>まとめ・創造・表現（１）</b> ○虫ハウスを紹介し，交流する。 ・虫ハウスに使った材料や改善した点を発表し合い，他の虫の特徴や飼い方を交流する。	○			・虫ハウスの材料や工夫した点を交流し合い，自分の虫ハウスにも取り入れたいという意欲をもとうとしている。	行動観察 虫ハウス	
三	6	<b>振り返り（１）</b> <b>学びのモニタリング</b> ○自らの学びや学び方を振り返る。 ・単元の初めに立てた「ゴールの見通し」の視点で虫ハウスや虫ハウスシートをもとに自らの学びを振り返る。 ・仲良くしてくれた虫への感謝の気持ちや，生命の大切さについて振り返る。			○	・学習を通して，自分が虫を好きになったことや仲良くなったことを振り返り，これからの生活に生かそうとしている。	行動観察 ワークシート	

## 本時の学習

### (1) 本時の目標

- 虫ハウスについて考え、どんな虫ハウスにしたいか、改善することができる。

### (2) 本時の評価規準

- 材料とそれを入れた理由とを関連付け、虫にとって必要なことを考え、虫ハウスを工夫して改善している。  
【活動や体験についての思考・表現】

### (3) 本時の学習展開（4時間目／全6時間）

学習活動 ○主な発問 ・予想される児童の反応 □思考の場の工夫	◇指導上の留意事項 ★めざす児童の姿 ◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て	評価規準〔観点〕 （評価方法） ◎本時で付けたい力 ☆育成したい資質・能力
1 本時の学習課題を確認する。 めあて _____ むしハウスにたいせつなざいりょうをかんがえ、むしがよろこぶハウスにしよう。	◇それぞれ虫ハウスに入れた材料の種類や量が違うことをおさえる。	
<b>本時のゴールの見通し</b> <b>A</b> ：材料とその理由とを関連付け3つの視点を見付け、集めた情報、虫の様子などをもとに、虫ハウスに必要な材料を考えている。 <b>B</b> ：材料とその理由とを関連付け3つの視点を見付け、虫ハウスに必要な材料を考えている。		
2 虫ハウスの材料を整理する。 ○今の虫ハウスには、どんな材料が何のために入っていますか。 □思考の場の工夫 <b>関連付ける</b> 虫ハウスに入れている材料とその理由とを関連付けながら、虫ハウスに必要な材料の視点を見つめる。  <コオロギ> ・えさにきゅうりやナスやにぼしが入っている。 ・隠れられるように、木や草が入っている。 <カマキリ> ・えさでバッタやガやハエが入っている。 ・のぼって遊べるよう木が入っている。 ・影で休憩できるように草を入れている。 <バッタ> ・えさでススキやりんご、ジャムを入れている。 ・休めるように草が入っている。 <ダンゴムシ> ・えさで落ち葉や木や石が入っている。 ・隠れられるよう石や木を入れている。	◇なぜその材料を入れているのか理由も出し合うようにさせる。 ◇同じ材料でも入れている理由が違うこともあることをおさえる。 ◆どんな材料を入れているか出しにくい児童へは、捕まえた場所の写真を見せ、意見を出しやすくする。 ◇材料は、「食べる」「寝る」「遊ぶ」ためのものが入っていることをおさえる。	☆理由と材料とを関連付け、虫ハウスに必要な材料の視点を見付けている。

<p>学習活動</p> <p>○主な発問</p> <p>・予想される児童の反応</p> <p>□思考の場の工夫</p>	<p>◇指導上の留意事項</p> <p>★めざす児童の姿</p> <p>◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て</p>	<p>評価規準〔観点〕</p> <p>(評価方法)</p> <p>◎本時で付けたい力</p> <p>☆育成したい資質・能力</p>
<p>3 虫ハウスの改善点を考える。</p> <p>○もっとこんな虫ハウスにしたいというものはありますか。</p> <p>&lt;コオロギ&gt;</p> <p>・木で暗い場所を作って歌える場所を作ってあげよう。</p> <p>&lt;カマキリ&gt;</p> <p>・太い木を入れて寝やすいようにしてあげよう。</p> <p>4 虫ハウスを改善する。</p> <p>○虫ハウスをもっといいハウスにしましょう。</p> <p>&lt;バッタ&gt;</p> <p>・ジャンプして乗ったり下りたりできるよう、石を入れてあげたよ。</p> <p>・友達がおやつにジャムを入れていたので、ぼくも入れてあげたよ。</p> <p>&lt;ダンゴムシ&gt;</p> <p>・かくれんぼをして遊んだり、広々と寝たりできるよう、大きな石を入れてあげたよ。</p> <p>・友達に枯葉も食べると聞いたので、枯葉も入れてあげたよ。</p> <p>&lt;コオロギ&gt;</p> <p>・友達は木で暗い場所を作っていたので、ぼくはカップに穴を開けて暗い場所を作ったよ。</p> <p>5 本時の学習を振り返る。</p> <p>○今日の改善を振り返り、これからの世話につなげていけるようにしましょう。</p>	<p>◇「食べる」「寝る」「遊ぶ」の観点から、どんなハウスにしたいのかを考えられるようにする。</p> <p>◇元いた場所と比べ、足りない材料がないか確認するよう声かけをする。</p> <p>◆改善方法が思いつかない児童には、図鑑にのっている虫ハウスをのせた、虫ハウス参考コーナーを作り、それを参考に改善方法を考えられるようにする。</p> <p>◇改善しながら、友だちと改善方法を交流できるようにする。</p> <p>◇「食べる」「寝る」「遊ぶ」の観点から改善点を考えたことをおさえる。</p>	<p>◎虫ハウスの材料を分類し、どんな虫ハウスにしたいかを考え、改善している。〔活動や体験についての思考・表現〕(行動観察・虫ハウスシート)</p>
<p>★めざす児童の姿</p> <p>&lt;コオロギ&gt;</p> <p>・ぼくのコオロギハウスはたくさん遊べるハウスにしたかったので、木を入れて暗いところをつくり、歌って遊べるようにしました。</p> <p>&lt;カマキリ&gt;</p> <p>・ぼくのかまきりハウスは、太い木を入れてかまきりが寝やすいようにしてあげました。</p> <p>&lt;バッタ&gt;</p> <p>・ぼくのバッタハウスは、石を入れて跳び上がったたり下りたりできるところを作りました。</p> <p>&lt;ダンゴムシ&gt;</p> <p>・ぼくのダンゴむしハウスは、大きな石を入れて、隠れて遊んだり、ゆっくり寝たりできるようにしました。</p>		
<p>6 次時の見通しをもつ。</p>	<p>◇それぞれお世話をし改善していきながら、次時はどんな虫ハウスが出来上がったのか交流し合うことを伝える。</p>	

(4) 板書計画

なかよしむしハウスをつくろう

◎ひつようなざいりょうを見つけられる。  
 🌸むしのようなすもかんがえてざいりょうを見つ  
 けられる。

めあて \_\_\_\_\_  
 むしハウスにたいせつなざいりょうをかんがえ、  
 むしがよろこぶハウスにしよう。

・おやつもいれてあげたいな。

にぼし ナス きゅう たべる

・ゆつくりねられ  
 るよう大きな石を  
 入れてあげよう。

ねる あそぶ

木 くさ 木

・もつとジャンプし  
 てあそべるようひろ  
 いくうかんをつくつ  
 てあげよう。

まとめ  
 ぼくのコオロギハウスは、たくさんあそべるハウスにした  
 かったので、木をいれてくらいところをつくり、うたってあ  
 そべるところをつくりました。

<参考> 「学びのモニタリング」

海田東小 学びのモニタリング

なかよしむしハウスをつくろう  
 「いきものとなかよし」

① むしハウスをつくるために、すすんでざいりょうを  
 あつめた。

ととも まあまあ あまり まったく

4 3 2 1

② じぶんがつくってあげたいむしハウスをつくるこ  
 とができた。

ととも まあまあ あまり まったく

4 3 2 1

③ ぶんきょうしてきづいたこと、おもったこと、やっ  
 てみたいことなどをかきましょう。